

小学生・作文 愛媛県砂防ボランティア協会会長賞

「災害から身を守るために」

松山市立北久米小学校 4年 ^{いしまる}石丸 ^{けいすけ}敬介

土砂災害について、ぼくが作文を書こうと思ったのは、最近のニュースで大雨や台風での地すべりでのことがおおくて、命をおとす人や家族をなくしたり、家や思い出の物をなくしたりする人がたくさんいて、ぼくはニュースを見るとすごく悲しく辛い気持ちになってしまいます。

最近、ぼくの身近でも、土砂災害の可能生が心配で、ひいじいちゃんの家族がひなんをしました。

ぼくのひいじいちゃんは、久万高原町という山にかこまれた所に住んでいます。

この前、四国に大型の台風がせまっていたときに、ひなんのために、ぼくの家に来ていました。

その時に、家族で土砂災害について話しました。

久万高原町に住んでいるひいじいちゃんが話してくれました。

土砂くずれが起きやすいのは、木を植えたまま手入れができていなくて、山があればはていることと、竹が大きく育ち、ふえているから、そして、木の年数が60年ぐらいたっていて、強い風にゆられてたえられないのも原因ですが、一番はかそか、高れいかだと言っていました。ぼくは、かそかがわからないのでひいじいちゃんに聞きました。そうしたら、若い人が都会に行ってしまう、山には、お年よりばかりになりどんどん人がいなくなることとおしえてくれました。

今、日本中の山がこのようないじょうたいになっているとのことでした。

ぼくは、このままではいけないと思います。突然、災害で、命や財産をうばわれないうちになにができるのか、今、日本や県でどんなことをしているのかを調べようと思います。

ぼくが考えたことは、竹を再利用したり、木がたおれないように木のせいびをしていくことと、木を切り、家の建ちくやまきなど、いろいろな物に利用していくと山もあれずに、土砂災害も少なくなり山も安全になると、ぼくは思います。

えひめ県では土砂災害防止法というのがあります。住民の生命を守るために、土砂災害が発生するおそれがある区いきを明らかにし、けいかいひなん体制の整備をすることだそうです。移転をすすめたりそこに建物をたててはいけないそうです。他にも土砂災害マップなどもあるそうです。

これからもきっと土砂くずれや、土砂災害は、起きてしまうかもしれません。でもいまあるじょうほうを利用していきたいと思います。

みんなで、山をもっと守っていき、木をたくさん利用して山や木を身じかに考えていけるようになってほしいと思います。

ぼくも、ひいじいちゃんの山に行った時は、山や木について、考えていきたいと思いません。